

第2次環境基本計画改訂版 令和元年度重点プロジェクトの実績一覧(R2.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成30年度の実績(参考)	令和元年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
地球温暖化対策の推進(1)	① 低炭素まちづくりの検討及び推進 ・下水熱など未利用エネルギーの活用 ・自動車利用抑制による公共交通機関の利用促進等 ・公園等における緑地の保全及び緑化の推進	大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター(CoIRe)と連携し、持続可能な社会を構築するための「フューチャー・デザイン」をテーマとする公開シンポジウムを開催した。(11月7日) また、現在策定中の第3次環境基本計画にもかかわるテーマ(エネルギー分野等)を題材としたワークショップを開催した(3月30日)	大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター(CoIRe)と連携し、第3次環境基本計画にもかかわるテーマ(エネルギー分野等)を題材としたワークショップを開催した(4月13日、6月23日、8月31日)。ワークショップでの議論を「2050年の仮想将来世代からのアドバイス・メッセージ」という形でまとめ、第3次環境基本計画にも反映させた。	○	COIReの研究テーマである「フューチャー・デザイン」に協力することは、本市の「環境まちづくり」に資するものと考えている。「フューチャー・デザイン」の社会実装に向けた取組として、ワークショップの成果を第3次環境基本計画に反映させた点において、前進がみられる。	環境政策室	
		平成30年度は、近隣公園1、遊園3を開設しました。	令和元年度は、街区公園2、遊園3を開設しました。	△	開発事業における都市公園等の整備に関する運用の見直しや、遊園の統廃合・有効活用など、小規模な都市公園等の増加への対応が必要	公園みどり室	
		吹田市公共交通マップ2019の作成：21,000部 うち約半数を毎年転入窓口で配布。その他は、市内の主な駅、公共施設等で配布。	吹田市公共交通マップ2020の作成：20,000部 うち約半数を毎年転入窓口で配布。その他は、市内の主な駅、公共施設等で配布。	△	公共交通マップを配布することにより、公共交通利用促進に寄与している。	総務交通室	
	② 公共施設における率先実行(節エネルギー、省エネルギー、低炭素エネルギー) ・節エネルギーの率先実行 ・省エネルギー機器・再生可能エネルギーの導入拡大	前年度に実施した高圧電力(負荷率40%以下)に加え、高圧電力(負荷率40%以上)及び低圧電力(従量電灯A、従量電灯B及び低圧電力)も対象とし、再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を市有施設302施設*で実施した。 ※報告数に誤りがあったため、修正しています。	再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を市有施設336施設で実施した。	△	昨年度に引き続き、高圧電力(負荷率40%超)、高圧電力(負荷率40%以下)、低圧電力について、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を行った。	環境政策室	環境政策室 総務室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 経営室 学校管理課
		学校の大規模改造工事(12件)、トイレリニューアル工事(10件)及び屋内運動場改造工事(5件)と、他改修・修繕で新設・更新する照明器具・誘導灯についてLED照明を導入した。また、上記トイレリニューアル工事において人感センサーを導入した。	学校の大規模改造工事(13件)、トイレリニューアル工事(11件)及び屋内運動場改造工事(5件)と、他改修・修繕で新設・更新する照明器具・誘導灯についてLED照明を導入した。また、上記トイレリニューアル工事において人感センサーを導入した。	△	今後も引き続き省エネルギー機器等の導入を進める。	学校管理課	

第2次環境基本計画改訂版 令和元年度重点プロジェクトの実績一覧(R2.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成30年度の実績(参考)	令和元年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
地球温暖化対策の推進(二)	③ 廃棄物処理関連施設包括的管理運営事業 本市資源循環エネルギーセンター、破碎選別工場、資源リサイクルセンター及びストックヤードの管理運営に、民間の活力及び経営手法を導入することにより、より効率的で効果的な廃棄物処理事業及び環境啓発に関する事業を行うことの様々な可能性について、調査・比較・検討を行う。	資源リサイクルセンターの事業として、昨年度に引き続き、地球温暖化防止動画コンテストを開催するとともに、地球温暖化防止をテーマとした啓発イベントをアジェンダ21すいたと連携しエキスポシティ内において実施した。	資源リサイクルセンターの事業として、昨年度に引き続き、地球温暖化防止動画コンテストを開催するとともに、地球温暖化防止をテーマとした啓発イベントをアジェンダ21すいたと協力し、エキスポシティ内において実施した。	△	資源リサイクルセンターの事業として、地球温暖化防止に向けた環境啓発事業を、学生等とも連携し、実施することができた。今後は、環境問題にあまり関心がない層などに対しての働きかけもさらに積極的に行う必要がある。	環境政策室	
	④ 再生可能エネルギーの導入促進	昨年度に引き続き、おおさかスマートエネルギー協議会(市町村部会)等に参加し情報収集を行った。本年度は、本市で取り組んでいる電力調達について、各市町村へ情報提供を行った。また、大阪府及び大阪市が共同で取り組むおおさかスマートエネルギーセンターについて、HPで紹介し、市民・事業者へ情報提供を行っている。また、アジェンダ21すいたとの連携・協働による十五夜ムーンライトコンサートにおいて、屋間に太陽光パネルで充電した電気自動車を展示し、その電力を使ってコンサートにかかる電力をまかなうことで、太陽光発電の導入、普及に関する啓発を行った。	再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、購入希望者を募ることで、スケールメリットを活かして、再生可能エネルギー比率の高い電気の比較的割安な購入が期待できる、再生可能エネルギー比率の高い電力のグループ購入事業を市民向けに開始した。今年度は、第1回の電カグループ購入キャンペーンを実施し、再生可能エネルギー比率の高い電力の購入希望者を募集するとともに、購入希望者と同電力を供給する小売電気事業者との契約をサポートした。また、アジェンダ21すいたによるすいたムーンライトコンサートにおいて、屋間に太陽光パネルで充電した電気自動車を展示し、その電力を使ってコンサートにかかる電力をまかなうことで、太陽光発電の導入、普及に関する啓発を行った。また、しびん発電所作り基礎講座において市民向けに家庭(ペランダ等)で使用可能な自作の太陽光発電設備の啓発を行った。	○	新規事業として、市民向けに再生可能エネルギー比率の高い電力のグループ購入事業を展開し、市民に対して、再生可能エネルギー比率の高い電力への切替えを促し、再生可能エネルギーの導入拡大を図った。本市のHPやアジェンダ21すいたとの連携・協働によるイベントなどにおいて、再生可能エネルギーの導入促進の啓発を行っているが、更なる導入促進に向けた支援策や啓発を行う必要がある。	環境政策室	環境政策室 総務室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 経営室 学校管理課

第2次環境基本計画改訂版 令和元年度重点プロジェクトの実績一覧(R2.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成30年度の実績 (参考)	令和元年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
ヒートアイランド対策の推進(1)	① 建築物・道路・駐車場の高温抑制化(高反射性塗装、透水性・保水性・遮熱性舗装など)	小・中学校校舎大規模改修工事など、26施設で防水工事を実施し、仕上げ塗料に高反射塗料を採用した。	校舎・屋内運動場の大規模改修工事等において、屋上防水改修を「26棟」実施し、仕上げ塗料に高反射塗料を採用した。	△	防水改修工事の際には今後も積極的に高反射塗料を採用していく。	学校管理課	
		平成30年度透水性舗装施工面積：2289.9㎡※ ※面積に誤りがあったため、修正するものです。	令和元年度透水性舗装施工面積：2428.0㎡	△	歩道舗装更新の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性舗装の整備に努めており、今後も引き続き行う予定である。	道路室	
		歩道等舗装工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性舗装の整備を実施した。 平成30年度実績 千里南地区センター再整備事業 510㎡ 千里山駅周辺整備事業 210㎡ 都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業 3212㎡ 都市計画道路南吹田駅前線関連道路整備事業 863㎡ 都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業 3522㎡	歩道等舗装工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性舗装の整備を実施した。 令和元年度実績 都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業 42㎡	△	整備事業の完成に伴い前年度と比較すると舗装施工数量が減少したものの、施工数量に対する透水性舗装が占める割合等の取組内容は前年度と同様であるため。	地域整備推進室	
		吹田市役所エコオフィスパラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行うとする事業者に対し、計画の早い段階から高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。 さらに、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】(平成30年度版)では、ヒートアイランド対策に関する取組項目を「建物屋根面・壁面」と「地表面」の2つに増やし、より具体的な対策を示すようにした。	吹田市役所エコオフィスパラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、ヒートアイランド対策に関する取組項目を「建物屋根面・壁面」と「地表面」の2つに増やし、より具体的な対策を示すようにした。 また、ヒートアイランド対策に関する取組項目を「建物屋根面・壁面」と「地表面」の2つに増やし、より具体的な対策を示すようにした。	△	公共施設におけるヒートアイランド対策の推進や、開発や建築などを行うとする事業者に対して取組の検討及び実施を求め、今後も引き続きヒートアイランド対策が促進されるよう努めていく。	環境政策室	環境政策室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 地域整備推進室 管路保全室
	平成30年度完了実績 屋上緑化 (1件 14.85㎡) 壁面緑化 (0件)	令和元年度完了実績 屋上緑化 (0件) 壁面緑化 (0件)	△	屋上緑化・壁面緑化は減少しましたが、吹田市開発事業の手続等に関する条例の基準以上の緑化を求めています。	公園みどり室		
	アジェンダ21すいたにおいて、平成30年5月26日(土)に、「みどりのカーテン講座」を開催し、苗の植え方、育成方法等を専門家から解説してもらうとともに、ゴーヤの苗を参加者に配付した。当日は30名を対象に実施した。	アジェンダ21すいたにおいて、令和元年5月23日(土)に、「みどりのカーテン講座」を開催し、苗の植え方、育成方法等を専門家から解説してもらうとともに、ゴーヤの苗を参加者に配付した。当日は44名を対象に実施した。	△	今後も、引き続き事業を継続するとともに、緑化の推進のための啓発活動及び事業者や市内環境団体との連携を進めていく。	環境政策室		

第2次環境基本計画改訂版 令和元年度重点プロジェクトの実績一覧(R2.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成30年度の実績 (参考)	令和元年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
	② 公園緑地・街路樹の整備、緑化の推進(屋上・壁面緑化、みどりのカーテンなど)	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から屋上・壁面緑化を実施する等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。さらに、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】(平成30年度版)では、ヒートアイランド対策に関する取組項目を「建物屋根面・壁面」と「地表面」の2つに増やし、より具体的な対策を示すようにした	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から屋上・壁面緑化を実施する等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。	△	公共施設におけるヒートアイランド対策の推進や、開発や建築などを行う事業者に対して取組の検討及び実施を求め、今後も引き続きヒートアイランド対策が促進されるよう努めていく。	環境政策室	
	③ 水辺空間の保全、親水空間の創出	河川管理者と協働し河川の清掃を行った。 (糸田川の清掃を年2回実施)	河川管理者と協働し河川の清掃を行った。 (糸田川の清掃を年2回実施)	△	今後も引き続き糸田川清掃業務を実施する予定である。	管路保全室	

第2次環境基本計画改訂版 令和元年度重点プロジェクトの実績一覧(R2.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成30年度の実績 (参考)	令和元年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
ヒートアイランド対策の推進(2)	④ 建築物の省エネルギー化、空調排熱の潜熱化	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、建築物の省エネルギー化等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から建築物の省エネルギー化等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、建築物の省エネルギー化等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から建築物の省エネルギー化等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。	△	公共施設におけるヒートアイランド対策の推進や、開発や建築などを行う事業者に対して取組の検討及び実施を求め、今後も引き続きヒートアイランド対策が促進されるよう努めていく。	環境政策室	環境政策室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 管路保全室
	⑤ ドライ型ミストの設置						
	⑥ ヒートアイランド現象のモニタリング	ヒートアイランド現象の把握のため、市域における7月～9月の熱帯夜数の把握を行った。	ヒートアイランド現象の把握のため、市域における熱帯夜数の把握を行った。	△	今後もヒートアイランド現象調査として、熱帯夜数の把握を行う。また、機会を捉えて市域の気温分布調査の実施を検討する。	環境政策室	

第2次環境基本計画改訂版 令和元年度重点プロジェクトの実績一覧(R2.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成30年度の実績 (参考)	令和元年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
(環境連携パートナーシップ)の推進	① 活動や交流・連携の場を備えたプラットフォーム組織の形成・拡充の支援 ・さまざまな主体が集い、活動や交流を進める場の整備の推進 ・市民団体や企業などを中間支援するパートナーシップ組織の形成	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数73名 ・環境教育フェスタで市内環境団体の交流会を開催10団体から合計19名参加 ・みどりのカーテン講座1回 ・すいた環境教育フェスタに参加 ・ニュースレター及びエコプレスの発行各4回 ・生物多様性に係るイベント1回の開催 ・吹田市立博物館夏季展示におけるまちなか水族館ボランティアによる淡水魚の展示 ・エコキャンドル作りを実施5回対象者合計97名 ・すいたクールアースウィークを実施し、市内公共施設や企業等が期間中の取組に参加した。 ・CO2排出ほぼゼロによる「十五夜ムーンライトコンサート」を開催、約250名の来場者があった。 ・食品ロス削減の取組として、JR吹田駅前商店街及び江坂駅周辺の店舗等を回り、食品ロス削減に関する啓発グッズの掲示等の協力要請を行った。「すいた食べきり運動啓発キャンペーン推進協力店」は、現在54店舗であり、アジェンダ21すいたのホームページに一覧を掲載している。	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数62名 ・環境教育フェスタで市内環境団体の交流会を開催3団体から合計7名参加 ・みどりのカーテン講座1回 ・エコクッキング講座1回 ・すいた環境教育フェスタに参加 ・エコレターの発行年4回 ・すいすいくん祭り・吹田市立博物館夏季展示におけるまちなか水族館ボランティアによる淡水魚の展示 ・エコキャンドル作りを実施1回対象者合計32名 ・省エネ相談会を実施3回計34組。 ・じぶん発電所作り基礎講座実施1回対象者28名。 ・すいたクールアースウィークを実施し、市内公共施設や企業等が期間中の取組に参加した。 ・CO2排出ほぼゼロによる「すいたムーンライトコンサート」を開催、約500名の来場者があった。 ・食品ロス削減の取組として、北千里駅、南千里駅、及び千里山駅周辺の店舗等を回り、食品ロス削減に関する啓発グッズの掲示等の協力要請を行った。「すいた食べきり運動啓発キャンペーン推進協力店」は、現在74店舗であり、アジェンダ21すいたのホームページに一覧を掲載予定。 ・生物多様性に係るイベント1回(中止：新型コロナウイルスのため)	△	今後も、引き続き事業を継続するとともに、地球温暖化防止のための活動を中心にして啓発活動及び事業者や市内環境団体との連携を進めていく。	環境政策室	環境政策室 市民自治推進室 地域経済振興室 学校教育室 まなびの支援課
		吹田市立市民公益活動センターにおいて、市民公益活動のフェスタとして、南千里かえっこパズルを開催した。使わなくなったおもちゃを捨てずに再利用することによる環境負荷の低減と同時に世代間交流を通じた地域の活性化、子供たちの社会貢献活動への参加促進、千里ニュータウンプラザ内の他施設との連携促進を図った。	実績なし (かえっこパズルについては平成30年度限りで終了しました。)	—	—	市民自治推進室	
		(公財)千里リサイクルプラザと共催で、環境学習発表会を2月2日に、環境学習展示発表会を2月2日及び2月5日から2月8日に開催することにより、市内の小中学校等における環境学習の取組の周知を図った。	(公財)千里リサイクルプラザと共催で、環境学習発表会を2月1日に、環境学習展示発表会を2月1日から2月7日に開催することにより、市内の小中学校等における環境学習の取組の周知を図った。	△	今後も(公財)千里リサイクルプラザと共催で、環境学習発表会を環境教育フェスタと同時同会場で開催することで、学校教育における環境学習の成果を広く市民に周知できるよう努める。	環境政策室	
② 積極的な情報提供、相互情報の共有・活用	環境省の公募事業である「地域循環共生圏構築検討業務」(実施主体：認定特定非営利活動法人「大阪自然センター」、活動地域：本市及び能勢町)に平成28年度から参画している。「地域循環共生圏」の構築に向けて、農林業支援を通じた生物多様性の保全や人材育成等に関する取組を平成29年度に引き続き行った。今後の本市と能勢町の連携の方向性の確認のため、「吹田市と能勢町との地域循環共生圏構築に係る確認書」を交わした。更に、能勢町産材等の利用推進の土台となるものである「吹田市木材利用基本方針」を策定した。	平成28年度～平成30年度の間、環境省の公募事業である「地域循環共生圏構築検討業務」(実施主体：認定特定非営利活動法人「大阪自然センター」、活動地域：本市及び能勢町)に参画してきた。そこでの検討を踏まえ、本市と能勢町との連携をより具体的なものにするために、「吹田市公共施設等への能勢町産等木材利用推進検討会議」を設置し、公共施設における能勢町産等木材の利用推進に向けた検討を開始した。	○	平成30年度までの検討結果を踏まえ、両市町間での連携をさらに具体的な物にするために、公共施設における木材利用に踏み込んだ会議体を設置し、議論を開始した点において、取組の前進が見られたと言える。	環境政策室		

第2次環境基本計画改訂版 令和元年度重点プロジェクトの実績一覧(R2.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成30年度の実績(参考)	令和元年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
（エコスクール）の推進 学校での環境教育	① 環境教育等促進法に基づく環境教育の充実 ・教材の開発や情報の提供 ・教職員の資質向上に向けた研修等の実施 など	・環境教育担当者を2回実施。企業等の出前授業やサービスについての紹介や、国・府からの伝達、各校の取組交流を実施した。成果や課題について交流し、教職員の資質向上も図った。	・環境教育担当者を2回実施。企業等の出前授業やサービスについての紹介や、国・府からの伝達、各校の取組交流を実施した。成果や課題について交流し、教職員の資質向上も図った。	△	・年2回の担当者をより良くしていくために、情報収集と周知に努めていく。	学校教育室	環境政策室 学校管理課 学校教育室
	② 太陽光発電、太陽熱利用など再生可能エネルギーの導入	なし	【小学校】 吹田市立千里第二小学校 吹田市立高野台小学校 【中学校】 吹田市立第五中学校 吹田市立山田東中学校 各小中学校に太陽光発電10kWを導入	○	今後も引き続き太陽光発電設備の導入を進める。	学校管理課	
	③ みどりのカーテン、ピオトープ、ミニ水田などの実施	・みどりのカーテン11校で実施。 ・ピオトープを17校で実施。 ・学童農園を20校、校内ミニ水田を13校、バケツ稲を5校で実施。	・みどりのカーテン9校で実施。 ・ピオトープを18校で実施。 ・学童農園を20校、校内ミニ水田を13校、バケツ稲を2校で実施。	△	・NPO法人や農家の方々等と連携し、取組施設の増加に努める。	学校教育室	
	④ 校内物品のリサイクル、生ごみ等の減量化・堆肥化	・エコスクール活動簿（環境の取組チェックシート）を活用し、全小・中学校54校において、児童・生徒、教員のエコに対する意識の向上を図った。各校の実情を環境教育担当会で交流し、取組の推進を促した。	・エコスクール活動簿（環境の取組チェックシート）を活用し、全小・中学校54校において、児童・生徒、教員のエコに対する意識の向上を図った。各校の実情を環境教育担当会で交流し、取組の推進を促した。	△	・エコスクール活動簿の取組により、年々エコの意識化が進んでいる。今後も引き続き取組んでいく。	学校教育室	
	⑤ 環境学習副読本等の活用	・引き続き環境教育副読本を全小・中学校54校に配置している。	・引き続き環境教育副読本を全小・中学校54校に配置している。	△	・今後も引き続き、環境教育副読本を全小・中学校54校に配置していく。	学校教育室	
	⑥ 環境教育の場の充実	・NPO法人や（公財）千里リサイクルプラザと連携した体験的な活動や、学校での取組を発表する場を設定した。出前授業の紹介を4月に行うことで、見通しのある環境教育を提供できた。	・NPO法人や（公財）千里リサイクルプラザと連携した体験的な活動や、学校での取組を発表する場を設定した。出前授業の紹介を4月に行うことで、見通しのある環境教育を提供できた。	△	・環境教育に取組む専門性の高い機関及び地域等の人材について情報収集に努める。	学校教育室	

第2次環境基本計画改訂版 令和元年度重点プロジェクトの実績一覧(R2.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成30年度の実績(参考)	令和元年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課	
地域における環境教育の推進(1)	① 環境教育等促進法に基づく協働取組などの推進 ・市民団体や事業者、行政の協働取組の推進 ・環境保全活動を行う団体等への支援 など							
	② 効果的なイベント(講習会・発表会、展示など)の開催	<p>市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来種問題について考えようのフィールドワーク1回 ・みどりのカーテン講座1回 ・すいた環境教育フェスタにおいて、マイボトルの啓発、食品ロスに関する展示 ・生物多様性に係るイベント1回 ・エコキャンドル講座を5回実施 ・地球温暖化防止のため「すいたクールアースウィーク」を実施し、市内公共施設や企業等が期間中の取組に参加した。 ・「すいた、わたしのエコ宣言」の推進で市民、事業者によるエコ宣言およそ1,000人分を作成したエコ宣言の動画をエキスポシティ光の広場で上映 <p>環境問題について理解と認識を深め、環境保全に関する実践的な能力・態度を育てることを目的に平成31年2月2日(土)「すいた環境教育フェスタ」を開催した。参加者は856名。各団体の環境に対する取組展示やワークショップの実施等。</p> <p>「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」がレジ袋無料配布中止協定の締結により発展的に解消し、市民・事業者・行政が三者協働でゴミ減量再資源化に取り組み「吹田市ゴミ減量再資源化推進会議」を設立した。 ・マイバッグ・食品ロス削減キャンペーンを実施</p>	<p>市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定外来生物駆除フィールドワーク1回 ・みどりのカーテン講座1回 ・エコクッキング講座1回 ・すいた環境教育フェスタにおいて、マイボトルの啓発、食品ロスに関する展示 ・エコキャンドル講座を1回実施 ・じぶん発電所作り基礎講座実施1回 ・地球温暖化防止のため「すいたクールアースウィーク」を実施し、市内公共施設や企業等が期間中の取組に参加した。 <p>環境問題について理解と認識を深め、環境保全に関する実践的な能力・態度を育てることを目的に令和2年2月1日(土)「すいた環境教育フェスタ」を開催した。参加者は602名。各団体の環境に対する取組展示やワークショップの実施等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性に係るイベント1回(中止：新型コロナウイルスのため) <p>市民・事業者・行政が三者協働でゴミ減量再資源化に取り組み「吹田市ゴミ減量再資源化推進会議」にて、年2回意見交換をした。また、スーパーの店頭で食品ロス削減キャンペーンを実施した。</p>	△	<p>推進会議(意見交換会): 2回 食品ロス削減キャンペーン: 6回</p> <p>今年度も、市内の各主体と連携・協働を図りながら、市民に広く周知していくことのできる効果的なイベントを積極的に開催していく。</p>	環境政策室	環境政策室 市民自治推進室 地域経済振興室 まなびの支援課 学校教育室	
	③ 講演や講座などの学習機会の充実	<p>廃油石鹸作り、ごみの分別方法、緑のカーテン講座、古着のリフォーム講座をはじめとした地区公民館講座の開催(主催は各地区公民館)(計37回開催)</p> <p>市報すいたやホームページなどで広報を行い、市内の団体から1件講師の派遣依頼があったため、環境教育にかかる出前講座を実施した。</p> <p>市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性に関するイベントの開催1回(すいた環境学生ネットワークと共催) ・みどりのカーテン講座1回 ・エコキャンドル講座5回開催 	<p>古布の活用、古着のリフォーム、廃油石鹸づくり、廃材を利用した物作りなどの環境講座を地区公民館主催講座として開催(計21回)</p> <p>市報すいたやホームページ等で広報を行い、市内の団体から4件の講師依頼があり、環境教育について講師を派遣し出前講座を実施した。</p> <p>市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロプラスチックに関わる講演会1回 ・みどりのカーテン講座1回 ・エコクッキング講座1回 ・エコキャンドル講座1回開催 ・じぶん発電所づくり基礎講座1回 	△	△	<p>2月以降の講座が中止となったため実施回数は減少したが、取り組みは継続されており、今後もさらに推進できるよう公民館と協力していく。</p> <p>現代的課題でもあり、市民の関心も少しずつではあるが高まってきている。広報を更に進めていく。</p> <p>時代に即した話題性のあるトピックに対する講演会を実施することができた。今後も常に変化する環境問題の最先端を捉えた講座を実施していきたい。</p>	まなびの支援課	まなびの支援課

第2次環境基本計画改訂版 令和元年度重点プロジェクトの実績一覧(R2.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成30年度の実績 (参考)	令和元年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
		地域でのごみ減量・再資源化を図るため、市民を対象としたごみ減量再資源化講座、食品ロス削減講座や、環境施設見学会を実施した。また、廃棄物減量等推進員を対象とした、環境施設見学会や全体会を実施した。	地域でのごみ減量・再資源化を図るため、市民を対象としたごみ減量再資源化講座、食品ロス削減講座や、環境施設見学会を実施した。また、廃棄物減量等推進員を対象とした環境施設見学会や全大会を実施した。	△	ごみ減量・再資源化を図るため、今後も講座等を実施し、市民が主体となり取組を推進できるように努める。また、食品ロス削減やプラスチックごみ削減に対して、関心のない人が取り組めるようなイベントも考えていきたい。	環境政策室	

第2次環境基本計画改訂版 令和元年度重点プロジェクトの実績一覧(R2.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成30年度の実績 (参考)	令和元年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
地域における環境教育の推進(2)	④ 地域において環境保全活動を担う人材の育成	それぞれの家庭や地域において、環境活動を実践する人材を育成するため、シニア層に限定することなく、幅広い世代を対象とした「すいた環境サポーター養成講座」を開催した。28名が講座を受講し、15名が修了した。	それぞれの家庭や地域において、環境活動を実践する人材を育成するため、シニア層に限定することなく、幅広い世代を対象とした「すいた環境サポーター養成講座」を開催した。12名が講座を受講し、9名が修了した。	△	受講者数の伸び悩みの原因の一つとして回数の多さが負担になっていると考え、現在の講座体系を見直すとともに、育成する人材の目標を、環境団体の中核を担う専門家の育成から、身近なところから環境活動に参加してもらう人材の育成へシフトし、より幅広い層からの環境活動の実践を促す。 また、小学生以下を対象とした公開講座を実施し、若年時からの環境教育の実践を強化する。	環境政策室	環境政策室 市民自治推進室 地域経済振興室 まなびの支援課 学校教育室
	⑤ 学習プログラムや教材の研究・開発	アジェンダ21すいたにおいて、環境学習としての学校版CO2ダイエットに取り組む学校の発掘に取り組んだ。現状、取り組む学校は見当たらなかったが、引き続き、学校にアプローチし、発掘に取り組んでいく。	アジェンダ21すいたにおいて、環境学習としての学校版CO2ダイエットに取り組む学校の発掘に取り組んだ。現状、取り組む学校は見当たらなかったが、今後はサタースクール等、アプローチ方法を変えて、引き続き、取り組む学校の発掘に取り組んでいく。	△	今後のアジェンダ21すいたの取組において、学校に対するより効果的な啓発方法を研究していきたい。	環境政策室	